

2021年度休眠預金事業 新型コロナウイルス対応支援助成
「こども食堂を通じた復興格差是正・防止事業 ―コロナ禍をよりレジリエントな地域創造のステップに―」
採択結果について

全国こども食堂支援・コンソーシアム
(幹事団体:認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ)

【審査過程】

2022年4月12日	公募要領公開(むすびえホームページ) ※オンラインによる説明会・個別相談会を複数回実施
5月2日	公募締切
5月15日	一次審査(事務局書類審査)
6月4日	二次審査(オンラインプレゼン審査)
6月18日	三次審査(審査会議) ※第三者の外部専門家等から構成される審査会議において審査を実施

【採択団体】 ※五十音順

団体名	一般社団法人愛知子ども応援プロジェクト
事業名	子ども食堂 継続・再開・新規支援事業 ―子ども食堂を通じた格差是正を目指す―
事業概要	①子ども食堂が行う食事提供・お弁当配布・フードパントリーは地域で必要不可欠な活動となっているが、食材不足により回数を増やせないケースも多い。そこで、安定的に継続開催が可能となるように、食料支援をさらに拡大する。そのことにより、困難を抱えるご家庭やお子さんに、お弁当や食料品を頻回に届けられるようになれば、食事を通して生まれた繋がりにより、孤立孤独を防ぐことになる。 ②コロナ前の子ども食堂の開催形式に戻すことを目的とした感染対策備品を配布する。
選定理由	・様々な企業との連携が既にあり、その支援を上手く本事業に組み込んで活用しようとしている。 ・半年間で多額の寄付を集めた実績もあり、継続性が見込める。
助成額	総額:9,988,000円 内訳:直接事業費 9,248,000円 / 管理的経費 740,000円 ※実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき記載しております。

団体名	えひめ地域こども食堂ネットワーク
事業名	愛媛県こども食堂ネットワーク体制強化事業 ―組織体制強化と新規休止子ども食堂支援事業―
事業概要	県内のこども食堂がさらに安定、継続して地域に根差した活動ができるよう取組みます。 ①休止中こども食堂再開・新規開始支援:コロナ禍で休止しているこども食堂再開・新規の開業ができるよう、アドバイスやスタッフ派遣、食料シェア推進などを行います。 ②ネットワークの体制強化:県内の東予・中予・南予、3地域毎のこども食堂連携と県全体の横断的連携が有機的・組織的に行える体制強化を進めます。 ③こども食堂ネットワークの広報推進:地域や企業がこども食堂とネットワークへの理解を深めることができるセミナーやイベントを開催します。 ④四国内こども食堂ネットワークの連携:食料シェアや情報交流の機会を作ります。
選定理由	・県内の三地域がひとつのプラットフォームとなって連携していく視点が組み込まれている。 ・愛媛県内のネットワークだけでなく、四国地方に波及させていく効果も狙っている。
助成額	総額:9,833,200円 内訳:直接事業費 8,111,200円 / 管理的経費 1,722,000円 ※実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき記載しております。

団体名	特定非営利活動法人かごしまこども食堂支援センターたくして
事業名	こども食堂で島のみながつながる事業 ―離島市町村でのこども食堂基盤整備事業―
事業概要	<p>当事業では、対策が早急に必要な離島に誰もが「わかりやすく」「伝えやすく」「参加しやすい」活動として「島カレーこども食堂」を実施する。</p> <p>この事業は、①誰もが知っているカレーを活用した「島カレーこども食堂」の設立運営伴走支援を実施する。</p> <p>①の運営を支援するため、②多様なステークホルダーに対する理解促進事業、③各離島間のステークホルダー連携強化(島カレー部)事業④アンバサダー(支援者)運営支援事業を行う。</p> <p>このカレーは、身近にある「島ならでは」の食材で調理でき地域との連携も取りやすく、嗜好の偏りが少なく、従来から「楽しい」イメージが定着しているため、取り組みやすいメニューである。</p>
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源が少ない離島に注目している点でオリジナリティーがある。 ・島カレーを題材に、離島でのこども食堂の気運を高めようという点は、市民の関心を高めるのに有効だと考えられる。 ・従来の事業とのシナジーが期待できる。
助成額	<p>総額:9,145,900円</p> <p>内訳:直接事業費 8,185,900円 / 管理的経費 960,000円</p> <p>※実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき記載しております。</p>

団体名	特定非営利活動法人チャイルドケアセンター(福岡県こども食堂ネットワーク)
事業名	こども食堂の再開支援・地域格差解消に向けた地域実践事業
事業概要	<p>①こども食堂の再開支援として、コロナ禍の影響でこども食堂の運営を休止していた団体と、コロナ禍でもこども食堂を実施してきた団体(例えば、筑紫地区のこども食堂)との交流会(情報交換会)を実施し、休止していた団体の再開を後押しする。</p> <p>②こども食堂の地域格差を是正するために、こども食堂が少ない地域でこども食堂の啓発イベントを実施したり、こども食堂立ち上げのための講座(相談会含む)を開催したりすることで、こども食堂の担い手の発掘とスタートを支援する。</p> <p>③再開したこども食堂と新規に立ち上がったこども食堂の活動が継続できるように、県域での交流会や研修会などを実施する。</p>
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な社会資源の活用や、ステークホルダー(大学、生協、プロボノなど)との連携を視野に入れている。 ・子ども・若者の生活面での自立のための事業(自炊塾)を、先駆的な取り組みとして構想している。
助成額	<p>総額:9,190,000円</p> <p>内訳:直接事業費 7,390,000円 / 管理的経費 1,800,000円</p> <p>※実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき記載しております。</p>

団体名	ふくしまこども食堂ネットワーク
事業名	コロナ禍のこども食堂基盤づくり事業 ―福島のこどもと保護者のための緊急支援―
事業概要	<p>コロナ禍で閉じていたこども食堂を再開する8団体の再開支援を行う。</p> <p>その際、物資提供やお弁当提供も含めた再開の支援を行う。</p> <p>また、コロナ禍で困難を抱えたこどもたちに新たにこども食堂を実施したい団体3団体について、子どもの食堂開催のための食材提供、等を行う。</p> <p>また、コロナ禍で食材費が予想以上に必要になっている。再開8団体、新規開催5団体において持続可能性を高めてゆくために、資金集めのための広報事業も行う。</p> <p>短期間で、効率的に進めてゆくために毎月定期的に、伴走する支援者を配置する。</p>
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・長期・中期・短期それぞれの課題に基づいて、意欲的な事業を設計している。 ・展開したい資金調達のノウハウに具体性があり、広報の寄付金額の効果も実証済みであるなど実績に基づいている。 ・連携やステークホルダーの巻き込みがすでになされており、実現可能性が高い。
助成額	<p>総額:9,424,000円</p> <p>内訳:直接事業費 8,248,000円 / 管理的経費 1,176,000円</p> <p>※実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき記載しております。</p>